



地方教育の振興に尽くして

5月24日(水)、全国市町村教育委員会連合会表彰を受賞した笠間八十公さん(若柳南大通)に、表彰状の伝達を行いました。

笠間さんは、栗原市教育委員会委員として平成22年から12年間にわたって、市の教育振興に尽力されました。

受賞にあたり笠間さんは「子どもたちの未来は未知数。AIを上手に取り入れて、子どもたち一人一人の視野を広げ、個性や可能性を伸ばす教育環境であって欲しいです」と、述べられました。



(左から)三浦さん、市川さん
長寿100歳おめでとうございます

5月31日(水)に三浦かしくさん(一迫新町)、6月10日(土)に市川タツヨさん(花山花山沢)が100歳を迎えられました。

自営業の手伝いと農作業をして家庭を支えてきた三浦さんは、現在は施設で体操とカラオケを楽しみながら、元気に過ごしているそうです。

家事と育児に励み3人の子どもを育てあげた市川さんは、歌を聞くことが好きで、家族との会話を楽しみながら、穏やかに毎日を過ごしているそうです。

春の叙勲・危険業務従事者叙勲

国や公共に対し功労のあった人と、危険な業務に精励した人に勲章が授与されました。

旭日双光章
(自動車整備事業振興功労)



元(一社)宮城県
自動車整備振興会副会長
菅原 吉一 さん
(栗駒上小路上)

地域の皆さんの安全を守るため、微力ながら努めてまいりました。今後も、地域と自動車整備業界のために、尽力していきます。

瑞宝双光章
(更生保護功労)



保護司
佐藤 孝悦郎 さん
(栗駒東方区)

このたびの受章、身に余る光栄と大変恐縮しています。これもひとえに、多くの皆様のご指導とご支援のおかげと、心より感謝と御礼を申し上げます。

高齢者叙勲

公共に対して尽力され、年齢が満88歳を迎えられた功労者に、勲章が授与されました。

瑞宝小綬章
(教育功労)



元公立高等学校長
三浦 漸 さん
(栗駒上小路下)

このような栄えある章を頂き、感謝しています。初任地に住みて過ごせし50年、わがまちの香は吾を育むの思いです。

瑞宝単光章
(消防功労)



元瀬峰町消防団副分団長
西原 弘毅 さん
(瀬峰川前)

家族の理解と協力、先輩方のご指導、消防団員や地域の方々の支えがなくては、受章できなかったものと感じています。ありがとうございました。

輝く日本一くりはら大賞を贈呈



三浦 正視 さん
(築館佐野)



鈴木 結美子 さん
(栗駒川東)



菊地 絢翔 さん
(築館宮野下町)

6月2日(金)と9日(金)、文化、芸術、スポーツなどの各分野で日本一に輝き、市民へ希望と勇気を与えた人に贈る「輝く日本一くりはら大賞」を贈呈しました。

昨年10月に栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会において、フライングディスク部門で三浦正視さん、陸上競技ビーンバッグ投で鈴木結美子さんが優勝し、日本一に輝きました。また、第51回J A共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクールにおいて、菊地絢翔さんが大賞に当たる農林水産大臣賞を受賞しました。

三浦さんは「今年も良い成績が残せるようにがんばりたいです」と、鈴木さんは「受賞できうれしいです。市内の障害者がスポーツに取り組める環境ができればと思います」と、菊地さんは「トラクターの下書きに時間がかかりました。友達にすごいと言ってもらえたことがうれしかったです」と、それぞれ述べられました。

瑞宝双光章
(消防功労)



元栗原市消防監
三塚 智 さん
(築館館下)

長年にわたり、大変多くの皆さまに心温かいご指導とご厚情を賜り、感謝申し上げます。今後は、この受章を心に刻み、さらに精進してまいります。

瑞宝単光章
(消防功労)



元栗原市消防団副分団長
加藤 恒雄 さん
(若柳大林2)

大変名誉なこと、うれしく思います。先輩の指導や団員皆さまの協力と、家族の理解が今回の叙勲に結び付いた賜物と感謝申し上げます。

瑞宝単光章
(消防功労)



元一迫町消防団分団長
大橋 茂 さん
(一迫本沢)

消防活動に対する家族の理解や、先輩から後輩まで多くの仲間たちの協力により、受章することができました。心より感謝申し上げます。

瑞宝単光章
(消防功労)



元築館町消防団分団長
千葉 彦 さん
(築館黒瀬)

このたびの受章は、当時の団員や仕事仲間の皆さん、家族の協力と支援があったことからです。大変ありがたく、身に余る光栄です。